

# IRミーティング

2015年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2014年11月7日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

# 注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

# 2015年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2014年3月期 4-9月実績	2015年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
売上高	43,712	44,232	519	101.2
営業利益	7,358	8,806	1,447	119.7
経常利益	7,211	8,677	1,465	120.3
税引前 当期利益	7,187	8,654	1,467	120.4
第2四半期 純利益	4,598	5,639	1,040	122.6

- 薬価改定の影響により  
既存品は減収
- ライセンス収入及び  
クレナフィンの売上が  
寄与し、増収増益を確保
- 販管費：13,890百万円  
・研究開発費：3,374百万円
- 中間配当は27円  
(3円増配)

# 連結貸借対照表

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2014年 3月期末	2014年 9月末	増減		2014年 3月期末	2014年 9月末	増減
流動資産	58,501	58,027	▲473	流動負債	28,056	27,598	▲457
固定資産	47,964	48,166	201	固定負債	10,312	9,182	▲1,129
資産合計	106,465	106,193	▲271	負債合計	38,368	36,781	▲1,586
				純資産合計	68,096	69,411	1,315

## 主な内容 (百万円未満切捨)

- ◆資産 現金及び現金同等物：14,251百万円
- ◆負債 有利子負債：4,195百万円
- ◆純資産 利益剰余金：48,686百万円 (▲1,103百万円)  
自己株式：16,021百万円 (▲1,635百万円)  
(500万株消却・159万株取得)

※ B/S上は純資産の減算項目です

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2014年3月期 4-9月実績	2015年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,252	3,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,152	▲795
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲7,958	▲5,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,062	14,251

- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前四半期純利益：8,654百万円
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産の取得：749百万円
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
自己株式取得額：3,559百万円  
配当金支払額：2,026百万円

# 売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2014年3月期 4-9月実績	2015年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	38,454	37,868	▲585	98.5
農業薬品	1,749	1,843	93	105.4
不動産賃貸料	1,235	1,225	▲10	99.2
その他	2,273	3,295	1,021	144.9
合計	43,712	44,232	519	101.2

# 医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2014年 3月期 4-9月実績	2015年 3月期 4-9月実績	前期比 (%)
アルツ	16,829	15,600	92.7
セプラフィルム	5,328	5,309	99.6
リピディル	2,187	2,143	98.0
フィブラストスプレー	1,901	1,730	91.0
ジェネリック医薬品計	5,056	6,054	119.7

## ・アルツ

売上数量は横ばいを維持するも、薬価改定の影響等により減収

## ・セプラフィルム

消費増税に伴う駆け込み需要の反動あるも、第2四半期は回復

## ・リピディル

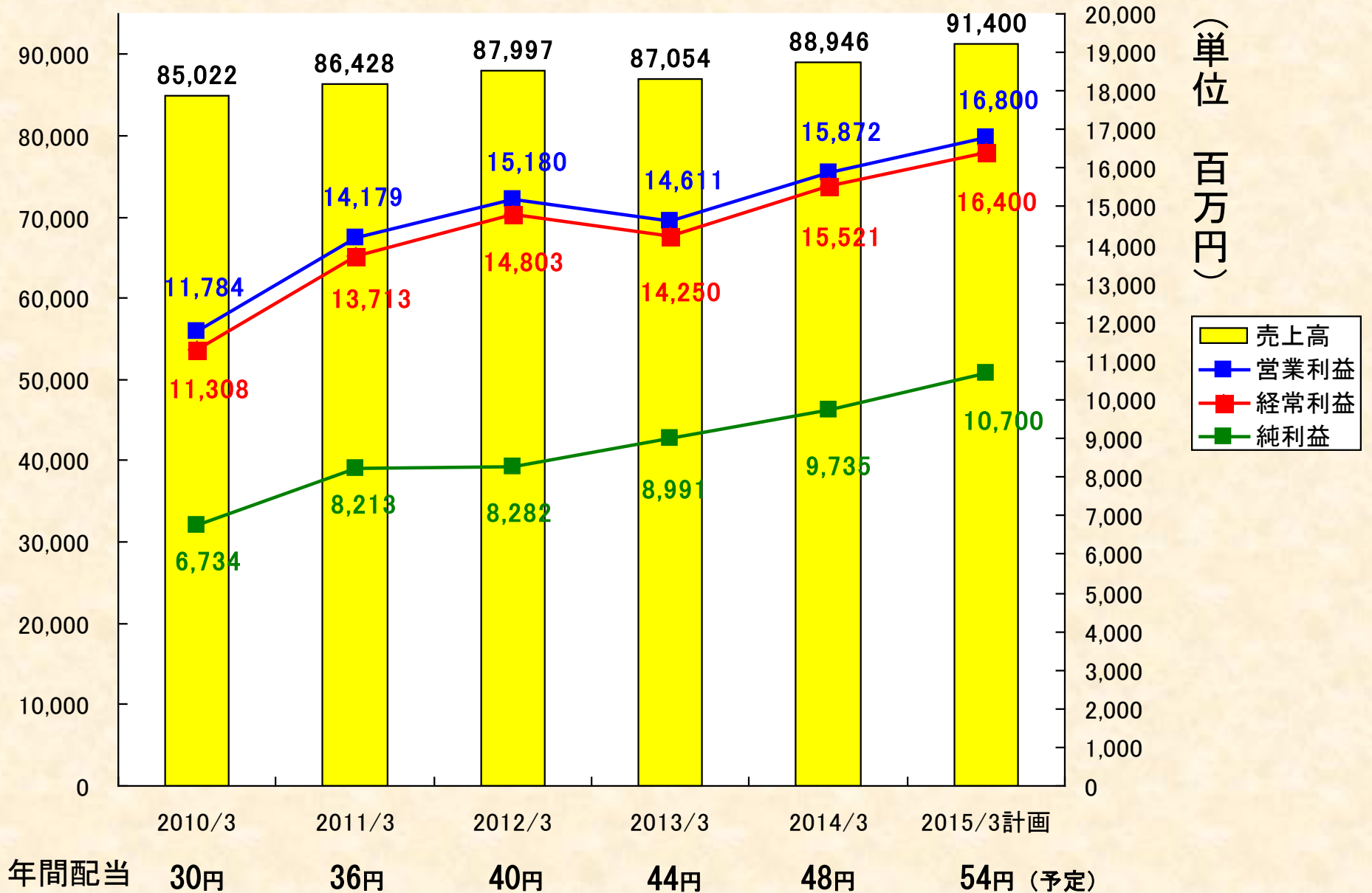
売上数量は伸長するも、薬価改定の影響を受け微減

## ・ジェネリック医薬品

既存製品の伸びに加え、新製品が増収に寄与



# 業績推移(連結)





# 開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
1	KCB-1D	歯周病	申請準備中	2016	bFGF
2	KAG-308	潰瘍性大腸炎	P I		旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
3	SI-657	腱・靭帯付着部症	P III	2016	生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

# 2015年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	88,946	91,400	2,454	102.8
営業利益	15,872	16,800	928	105.8
経常利益	15,521	16,400	879	105.7
税引前当期利益	15,496	16,300	804	105.2
当期純利益	9,735	10,700	965	109.9

■ 通期損益計画は当初計画の通り

■ 研究開発費は82億円

■ 期末配当は27円(3円増配)とし、年間54円(6円増配)を予定

# 医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	32,073	30,500	95.1
セプラフィルム	10,726	11,100	103.5
リピディル	4,429	4,500	101.6
フィブラストスプレー	3,786	3,700	97.7
ジェネリック医薬品計	10,977	12,000	109.3

- アルツ**  
「変形性膝関節症」の疾患啓発活動を更に充実させるとともに、シェアの拡大を推し進める
- セプラフィルム**  
新材形の追加により、消化器外科・産婦人科へ新たな使用方法を提案することで、更に浸透率を上げる
- リピディル**  
脂質関連ガイドラインおよび糖尿病診療ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- フィブラストスプレー**  
皮膚科、形成外科等への地道な情報提供を展開
- ジェネリック医薬品**  
12月に2品目の発売を予定

# 大株主一覽表(2014年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	東レ株式会社	4,589	5.6%
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,564	5.6%
3	株式会社みずほ銀行	3,686	4.5%
4	農林中央金庫	3,686	4.5%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,094	3.8%
6	SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	2,147	2.6%
7	科研製薬従業員持株会	1,651	2.0%
8	日本生命保険相互会社	1,431	1.7%
9	ザ・チェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	1,340	1.6%
10	杏林製薬株式会社	1,294	1.6%

※自己株式数: 13,999千株

